

除排雪作業に市民の皆さんのご理解とご協力を

市では、冬期間の安心・安全な道路交通の確保のため、除排雪作業を実施していますが、作業を円滑に実施するためには、次のことについて市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



深夜の除排雪作業にご理解を

交通渋滞を起こさないよう、除排雪作業は主に交通量の少ない深夜から早期に行われます。騒音や振動でご迷惑をおかけしますが、ご理解ください。

自宅前の除雪にご協力を

除雪車が通った後はどうしても間口に雪が寄せられてしまいます。間口に寄せられた雪は、市民の皆さんで除雪していただきますよう、ご協力ををお願いします。

作業中の除雪車に近寄らないで

除雪車の前後約10mは死角です。雪の中に混じった石やガラス片が飛び散る場合もあります。危険ですので30m以内には近寄らないでください。

敷地内の雪を道路に出さないで

各戸敷地内の雪は道路に出さないでください。道路に出された雪は交通の支障になるだけでなく、交通事故の原因にもなります。ルールとマナーを守り、雪は市指定の雪捨て場に捨ててください。

除排雪作業の事故防止にご協力を

車乗り入れや段差解消のためのステップ、融雪のためのホースやパイプ、道路上に伸びた木の枝や生垣など、除排雪作業の妨げになるものは道路に出さないでください。除雪車の故障や作業員のけがの原因となりますので、ご協力をお願いします。

路上駐車はやめましょう

除排雪作業の支障となるだけでなく、一般車両や緊急車両の通行の妨げになります。路上駐車はやめてください。



市 道

- 五所川原地域
スノーステーション Tel.35-5610
- 金木地域
金木総合支所産業建設係 Tel.35-2111 (内線3115)
金木除雪センター Tel.53-3877
- 市浦地域
市浦総合支所産業建設係 Tel.35-2111 (内線4043)

国 道 ・ 県 道

西北地域県民局道路施設課 Tel.34-2111(代)

水道管の凍結にご注意を

冬は気温の低下により水道管の凍結や破裂が予想されます。-4℃以下になる日は特に注意しましょう！

①水抜き栓の操作による凍結防止

▷水抜き栓をしっかり最後まで閉めて、蛇口のハンドルを全開にしてください。

*事前に使用方法を確認し、誤操作に注意してください。

②凍結を防止する方法

▷発泡スチロールや布などを利用した保温により、水道管を寒さから守りましょう。

▷屋外のむき出しになっている配管には、保温材の取付けが効果的です。

③凍結したときの解氷方法

▷暖房器具を使用し、室内を暖めてください。

▷蛇口のハンドルを無理に回さず、蛇口にタオルなどを巻いて、ぬるま湯を少しずつかけてください。

解氷できない、破損した場合

▷③の方法でも水が出ないときや、凍結して破裂したときは、破損部分に布かテープを巻き付け応急手当をして、水道業者に修繕を依頼してください。その際は市の指定給水装置工事事業者または西北五管工業協同組合(Tel.34-8578)へご連絡ください。

問い合わせ先…水道課 内線2734



除雪作業中の事故を防止しましょう！

毎年、屋根の雪下ろしや除雪作業中の事故が相次いで発生しています。事故を防ぐためにも次の10か条を守り、安全な除雪作業を心がけましょう。

——— 除雪作業の事故防止10か条 ———

- ①作業は家族、隣近所にも声をかけて2人以上で！
- ②建物のまわりに雪を残して雪下ろし！
- ③晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんで！
- ④はしごの固定を忘れずに！
- ⑤除雪機の雪詰まりの取り除きはエンジンを切ってから！
- ⑥低い屋根でも油断は禁物！
- ⑦作業開始直後と疲れたころは特に慎重に！
- ⑧面倒でも命綱とヘルメットを！
- ⑨命綱、除雪機など用具はこまめに手入れ・点検を！
- ⑩作業のときには携帯電話を持っていく！

問い合わせ先…防災管理課 内線2142

冬期間も空き家を適切に管理しましょう！

空き家の屋根に積もった雪を放置すると、隣家や通行人への落雪被害など、周辺地域に大きな被害・悪影響をおよぼします。また、長期間放置されている空き家は、老朽化が進行すると屋根雪により倒壊するおそれがあり大変危険です。

市内に空き家をお持ちの方は、定期的に屋根の雪下ろしを行うなど、冬期間における空き家の適正管理に努めてください。

また、空き家の周辺地域の方は、屋根雪が積もっている空き家には近づかない、または用心して通行するなど、日頃からご注意ください。



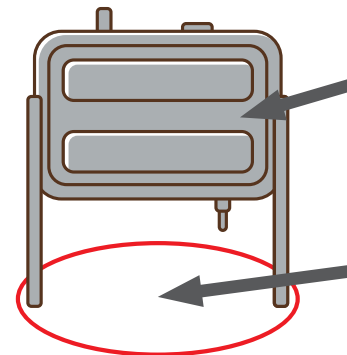
油の流出事故に注意しましょう！

例年、冬季になると積雪、落雪、除雪による送油管の破損やホームタンク小分け口の締め忘れなどを原因とする灯油の流出事故が多発しています。

油の流出事故が発生すると、排水路を通じて河川に流出する危険性があるため、ホームタンクを排水路付近に設置されている方や複数設置されている事業者の方は十分注意してください。

また、油が排水路および河川等に流出した場合や油膜を発見した場合は、被害拡大防止のため速やかに通報してください。

*流出した油の回収に使用されたオイルフェンスやオイルマットなどの資材は、すべて原因者が購入し返却していただくことになります。



ホームタンクの点検

- ①満タン時の重量に耐えられるようしっかり固定されているか。
- ②底面やらせん状の油送管が腐食していないか。
- ③小分け口の開閉レバーが斜め(半開き)になっていないか。
- ④給油して間もないのに目盛りの減り具合が早すぎないか。

ホームタンク周辺の点検

- ①真下の土壌やコンクリートに漏れた形跡がないか。
- ②周辺の雪の色が茶色に変色していないか。
- ③屋外に露出している油送管が家屋の外壁にしっかり固定されているか。
- ④U字溝の継ぎ目から灯油が染み出していないか。

問い合わせ・通報先…五所川原消防署 Tel.35-2019
五所川原消防署金木分署 Tel.53-2322
北部中央消防署市浦分署 Tel.62-2119
環境対策課 内線2367